



取り付けする前に必ずお読みいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

不正な取り付け、改造、仕様変更をしないでください。

仕様については予告なく変更する場合があります。



警告

要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示しています。



注意

要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示しています。

品名 PnP サーモメーター Y1

適合 CYGNUS-X Fi・BW'S125

品番 M1007

シグナスは2型以降のインジェクションモデルのみ
日本国内モデル / 台湾モデル両対応

本製品の保証期間は6ヶ月です。お買い上げ日のわかる領収書もしくは納品書を本書と一緒に大切に保管してください。保証期間内に製造上の原因による品質不良がありました場合は、お買い上げの販売店様までご連絡ください。不良内容を確認のうえ、製品を修理もしくは交換させていただきます。ただし、本製品の修理・交換以外のいかなる事柄（物的損害、人的損害）に対して、弊社は賠償の責任を一切負いかねます。あらかじめご了承ください。



NOTE

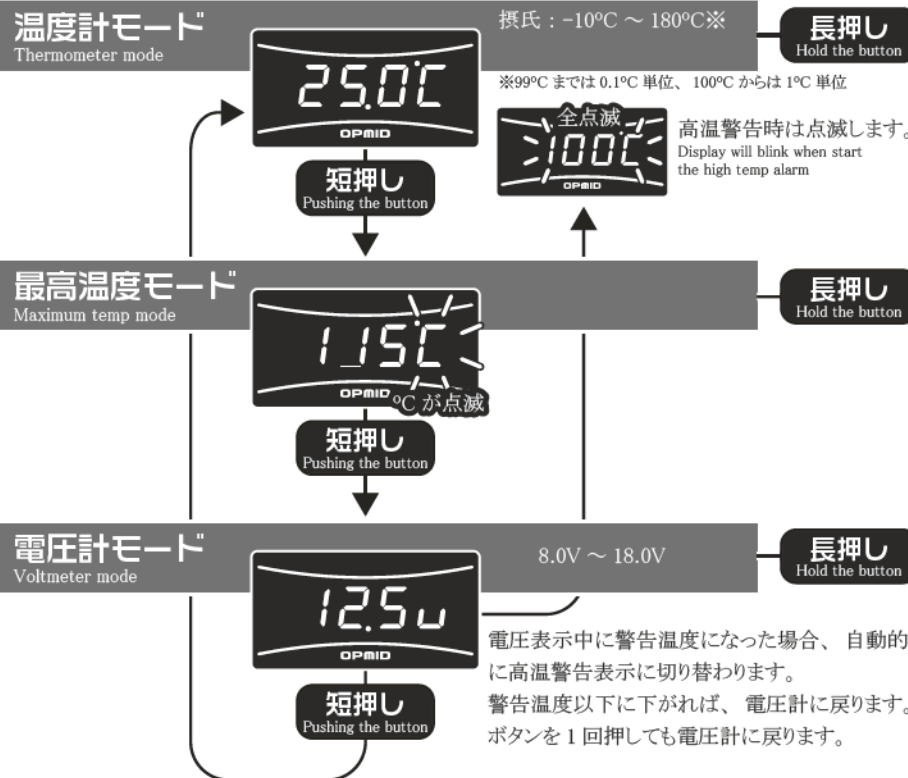
約 90°C 前後のまま変化しない

温度センサーへの配線が接続できていない（温度の信号を読み込めない）場合、構造上の都合により固定温度を表示します。接続を確認してください。

NOTE

温度が大きくずれている

常温放置時に外気温と表示温度が大きくずれている場合は、プログラムの適合が異なっている可能性があります。本書の最下部にある“車種プログラム切り替え”を確認してください。



短押し
Pushing the button

ボタンを短く(3秒以下)押すことを表します。

長押し
Hold the button

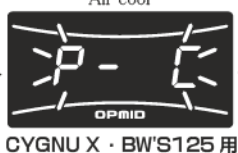
ボタンを長く(3秒以上)押すことを表します。

車種プログラム切り替え [P-C] 空冷系

Switching Air cool/ Water cool

長押し
Hold the button

キー ON
Key switch ON



CYGNUS X・BW'S125 用

切り替え
Switching

短押し
Pushing the button

[P-S] 水冷系

Water cool



MAJESTY S・S-MAX TRICITY125 用

注意

異なるプログラムを選択すると温度が大きくずれますのでご注意ください。

5秒間ボタン操作が無ければ、設定完了
If not push the button for 5 seconds, setting complete

ボタンを押しながら、キーをONにする。
Hold the button and turn on the key switch



KIT CONTENTS

M1007

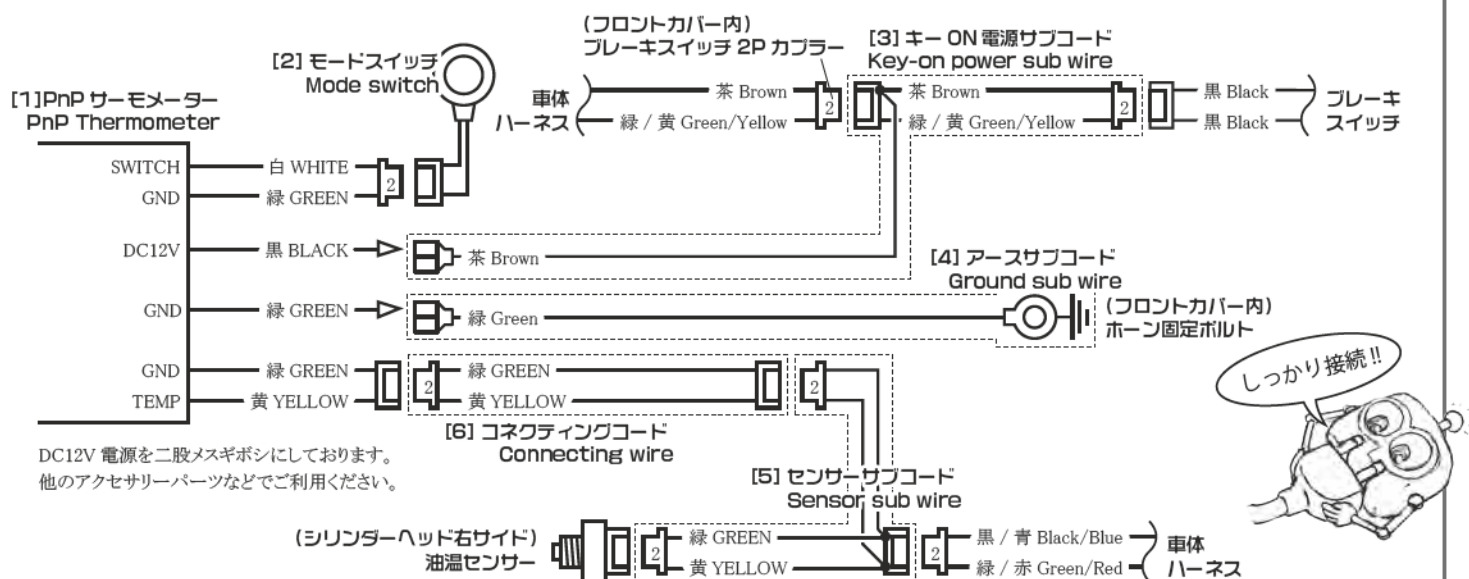
1	PnPサーモメーター PnP Thermometer	x1
2	モードスイッチ Mode switch (600mm)	x1
3	キー ON 電源サブコード Key-on power sub wire	x1
4	アースサブコード Ground sub wire	x1
5	センサーサブコード Sensor sub wire	x1
6	コネクティングコード Connecting wire (2000mm)	x1
7	両面テープ W-sided tape	x2
8	φ22 ハンドルパイプマウント 7/8" Handlebar mount	x1
9	インシュロック Cable ties	x6

[2] モードスイッチはコードの届く範囲でお好みの場所に貼り付けてください。
 [7] 両面テープは貼り付け面に応じて重ねたり、カットして長さを調整してください。
 [8] ハンドルパイプマウントはBW'S 用です。ネジを外すと、クランプ部を開いてハンドルを通すことができます（グリップなどを外す必要はありません）。

PnP THERMOMETER Y1 配線図

WIRING DIAGRAM

M1007



キー ON 電源の接続（図 1・2）

[3] キー ON 電源サブコードをブレーキスイッチ 2P カプラーに割り込ませます。

[3] キー ON 電源サブコードの茶コードを [1] メーターの黒コードに接続します。

<アドバイス>

ブレーキレバーホルダーに固定されているブレーキスイッチの配線をたどるとシグナスはハンドルカバー内、BW'S はフロントカバー内の ECU 上部に 2P カプラーがあります。配線色（茶と緑 / 黄）で見付ける事も可能です。接続するのはリアブレーキ用、フロントブレーキ用どちら側でも構いません。

アース線の接続（図 3・4）

フロントカウル内にあるホーンの固定ボルトに [4] アースコードのアース端子を共締めします。

[4] アースコードを [1] メーターの緑コードに接続します。

油温センサーの分岐接続（図 5）

[5] センサーサブコードをシリンダーヘッドにある純正油温センサーに割り込ませます。

[6] コネクティングコードを [5] センサーサブコードに接続します。

[6] コネクティングコードをフロントカウル内まで配線します。

<アドバイス>

油温センサーはシリンダーヘッド右上（ファン側上部）のスタッドボルトのオイルラインに差し込まれている真鍮製の部品です。スクーターはエンジンが上下に動きます。[6] コネクティングコードをフロントカウル内まで可能な限り車体ハーネス（純正油温センサーハーネスおよびメインハーネス）に沿わせることで適度の「たるみ」を持たせられます。付属の [9] インシュロックを使い、しっかり固定しながら沿わせてください。断線の原因になりますので、引っ張り気味にならないようにご注意ください。



図 1 (シグナス)



図 2 (BW'S)



図 3 (シグナス)

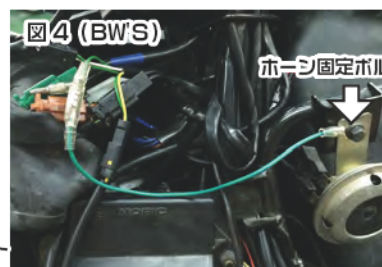


図 4 (BW'S)



図 5 (シグナス・BW'S)

純正油温センサーから信号を取り出します。

⚠ 注意

ステアリングを動かした時にコードを挟んでいないか？
 コード無理な力がかかっていないか？
 コネクターと端子は確実に接続できているか？
 よく再確認してから、外装を取り付けてください。